

# 県議会 おおいた

# No.136

## 大分県議会

### 令和6年11月発行

題字は、大分県立中津北高等学校3年 かなえだ ななみ 金枝 虹美さんの作品です。



委嘱状交付式



ユースモニター（オンライン参加含む）と広報委員



意見交換会

県議会では、若者の意見を県政に反映させるため、  
県内の若者14名を県議会ユースモニターに委嘱しました。  
9月12日に委嘱状交付式と意見交換会を開催しました。

## 議長就任あいさつ



第76代

大分県議会議長

嶋 幸一  
しま こういち

この度、大分県議会の第76代議長に就任しました嶋 幸一です。  
これも多くの皆様の長年のご指導とご支援のお陰でございます。心より厚く御礼申し上げます。引き続き、皆様のご指導をいただき県議会議長の重責を果たしてまいります。

大分県議会は、様々な課題に挑戦し県民の皆様が開かれた議会を目指して、不断の改革と活性化に取り組んできました。しかし、時代の変化に対応し、多様化する県民の要請にこたえていくには、なお一層の努力が必要だと考えています。

これまでの取組をさらに進化させ、より良い県政の実現、郷土大分県の発展に向けて全力で取り組んでまいります。  
大分県においては、新長期総合計画「安心・元気・未来創造ビジョン2024」が策定されました。県議会としましても、執行部と緊密に連携を図るとともに、積極的に政策提言を行うことで、諸課題に対応してまいります。

今後とも、二元代表制の下、県民の皆様のご代表として選ばれた議会の使命と責務を強く自覚し、より身近でさらに信頼できる県議会を目指して誠心誠意、力を尽くしてまいります。

皆様のご支援とご協力を心からお願い申し上げます。

# 令和6年 第3回定例会

9月4日から9月24日までの21日間、開催しました。

開会後、井上副議長による諸般の報告に続き、元吉俊博議長の辞職に伴う議長選挙が行われました。選挙の結果、第76代議長に嶋幸一議員が選任されました。

また、令和6年度大分県一般会計補正予算等の議案が提出され、佐藤知事が提案理由を説明しました。

9月10日の代表質問には会派を代表して3人の議員が、9月11日から13日までの一般質問には12人の議員が登壇して県政の課題等について執行部と活発な議論を行いました。

9月17日、18日に開催された各常任委員会では、付託された議案等について審査を行いました。

今定例会では、知事提出議案17件、議員提出議案3件、請願1件について可決・同意・採択し、閉会しました。



各議員名欄にある二次元コードから、そのほかの質問を含めて、動画でご覧頂けます。

## 代表質問

9月10日(火)



自由民主党  
志村 学 議員



### 県政運営について

今年度前半の総括と後半に向けた意気込みや来年度に向けた課題などを含め、県政運営に対する知事の考えを伺います。

**A**

私は、知事就任以来、「対話」や「連携」「継承・発展」を基本姿勢として県政運営に取り組んできました。

今年度前半は、安心分野では、県民ニーズの高い、こども医療費助成の対象拡大や防災対策の見直しなど、スピード感をもって取り組んできました。元氣分野では、経済波及効果146億円と前回を上回る結果となった福岡・大分デステイネーションキャンペーンの開催や、8月には6年ぶりとなる台湾プロモーションを実施しました。

今後は、「全国豊かな海づくり大会」の成功に万全を尽くすとともに、大阪・関西万博を契機とした誘客促進等、来年度に向け抜かりなく準備を進めていきます。

## 台湾との交流について

台湾との交流を今後どのように推進していくのか知事の考えを伺います。

**A**

経済成長を続ける台湾との交流は本県の発展にとって重要であり、8月には6年ぶりとなる台湾プロモーションを実施しました。

今回の実施結果を踏まえ、主に3つの分野で台湾へアプローチを行っていきたくと考えています。一つは観光を含めた人的交流の推進です。台湾からの宿泊者数は韓国に次いで2番目と重要な市場です。今回の訪問で実施したトツプセールス等を契機に新たなツアー造成につなげ、更なる観光誘客を進めるとともに、直行便の誘致



台湾日本関係協会との意見交換の様子

にも継続して取り組みます。

二つは県産品の輸出促進です。牛肉や酒類等の輸出が年々増加しており、今後は養殖ブリやシャインマスカットなどの品目についても販路拡大を進めてまいります。

三つはものづくり産業における連携強化です。台湾の「三三企業交流会」等の団体と連携し、台湾の半導体関連企業と県内企業とのマッチングを進めるほか、台湾企業等の県内誘致にも取り組みます。

質問はこのほか「広域交通政策について」など6項目



県民クラブ  
二ノ宮 健治 議員



## 県職員の人事について

県職員の人事について今後どのような方針で臨まれるのか、知事の考えを伺います。

**A**

職員の人事異動は、職員の適材適所の配置により組織のパフォーマンスを最大限に引上げる有効な手段です。

例えば、事務職員はゼネラリストとしての意識を身につけてもらうため、採用後は早期に異なる部署や本庁と地方機関の両方を経験してもらいます。

専門性が必要な技術職員は、若いうちは地方機関での現場経験を積むことで知識の習得に努め、その後、本庁など幅広く経験することでの行政のプロとしての対応力を身につけていきます。

また、能力や実績による若手職員の積極的登用、産育休制度の充実、男性育休の取得などによる女性職員の活躍も推進しているところです。

人材育成の観点から人事異動は4年を限度としていますが、長期にわたるシステム開発や研究プロジェクトでは、4年にとらわれることなく柔軟に対応していきま

### 農業の振興について(農工併進と県農業非常事態宣言・行動宣言)

**Q** 県勢のバランスある発展に向けた農工併進の実現について、今後の農業振興にどのように取り組んでいくのか知事に伺います。

**A** 本県農業の再生に向け、関係機関が一体となって取組を進めてきましたが、人口減少や気候変動などを背景に、農業を巡る情勢は大きく変化しています。

これらを踏まえ、新たな農林水産業振興計画案では元気な担い手が元気な産地をつくり、新たな担

い手を呼び込む好循環をより多く生み出すことに重きを置くこととされています。

具体的には、スマート技術の導入などによる中核的経営体の経営拡大の支援や、大規模園芸団地への企業の呼び込み、中山間地域では、集落営農法人等の経営力を高め、持続的な営農活動を支援します。

このような取組を実現するため、今年度、「農業成長産業化推進本部」を立ち上げ、総力を挙げて取り組むこととしています。

質問はこのほか「企業誘致について」など6項目



公明党  
吉村 哲彦 議員  
よしむら たくひろ



### 県民スポーツの振興について

**Q** 本県の県民スポーツの振興をどのように進めていくのか知事に伺います。

**A** 新長期総合計画案において、元気分野で、「する」「みる」「支える」スポーツの推進を政策目標に掲げ、「ライフステージに応じた県民スポーツの推進」と「スポーツによる地域の元気づくりの加速」に取り組むこととしています。

新長期総合計画案において、元気分野で、「する」「みる」「支える」スポーツの推進を政策目標に掲げ、「ライフステージに応じた県民スポーツの推進」と「スポーツによる地域の元気づくりの加速」に取り組むこととしています。

ライフステージに応じた県民スポーツの推進では、スポーツ実施率の低い子育て世代や働く世代に對して、健康アプリの活用や、企業と地域のスポーツ団体の連携による運動機会の充実を図っていきます。

部活動の地域移行への支援や、総合型地域スポーツクラブとの連携した取組により、スポーツの振興と地域における健康増進に努めます。

スポーツによる地域の元気づくりの加速では、今年も10月に大分ステージが開催されるツール・ド・九州2024をはじめ、国際大会や大規模大会などの誘致を更に進めていきます。こうしたイベント等の開催を通じて、地域の元気を創出したいと考えています。

### 新たな観光PRについて

**Q** 若年層やインバウンド客に向けた新たな観光PRにどのように取り組んで行くのか知事に伺います。

**A** 本県を訪れた外国人の旅行消費額が令和5年には294億円と過去最高を記録しました。また、本年7月公表の民間調査では、魅力的な宿泊施設部門で大分県が1位になるなど、国内の観光客からも高い評価を得てい

ます。この成長と評価を持続させるため、インバウンドや若年層の誘客に向けた取組に力を入れていきます。

訪日外国人旅行者の更なる獲得に向けては、国や地域ごとに設置した戦略パートナーを通じ、インバウンド誘客に取り組んでいます。

本年度からおおいたファンを県内外から募集し、定番観光地やまだ知られていないお勧めスポットなどをSNSで発信してもらう「おんせん県おおいたファンコミュニティ」の創出に取り組めます。若者独自の感性でピックアップした情報が順次拡散されることにより、新たな旅行者の獲得につながるものと期待しています。



おんせん県おおいたファンコミュニティ

質問はこのほか「大分市東部地域の道路整備について」など6項目

### 一般質問

9月11日(水)



自由民主党  
おおた まさあき  
太田 正美 議員



#### 中小企業の振興について

**Q** 中小企業の振興にどのように取り組んでいくのか知事の考えを伺います。

**A** 厳しい経営環境の中でも中小企業が事業を継続できるように、様々な支援を講じていくことが重要である一方、先日、本県の最低賃金が55円引上げられることが決定しました。中小企業にとっては厳しい経営環境下での引き上げであるため、金融・経営両面から積極的な後押しを行っていきます。

9月補正予算案では、企業が賃上げの原資となる収益を確保するため、新事業等に取り組む事業者に対し、保証料を免除した制度資金を創設することとしています。融資にあたっては、専門家が計画策定や実行の伴走支援を行うことで、経営力の強化を図ります。

また、適切な価格転嫁の促進も重要であるため、関係機関と連携し、セミナー開催や個別相談への対応等も行います。

質問はこのほか「観光の振興について」など5項目



自由民主党  
きむら まさひと  
木村 親次 議員



#### 安岐ダムの再生について

**Q** 既設ダムの有効活用である「ダム再生」に注目が集まっていますが、安岐ダムの再生にどのように取り組んでいくのか土木建築部長に伺います。

**A** 今年度から安岐ダムの再生事業は、国の補助事業に新規採択されました。

現在、令和8年度に国が行う設計審査に向け、地質調査や環境調査等に着手しており、今後は、令和13年度から本体工事に着手し、令和21年度の事業完了を目指していきます。

本事業の実施により、先日の台風10号も含めた過去最大規模の降雨に、将来の気候変動により予測される増加分を加えても安岐川の安全を確保することが可能となる見込みです。

事業実施にあたっては、地域の豊かな自然環境や田畑などの土地利用への影響が最小限となるように努めます。



安岐ダム

質問はこのほか「次期地方創生戦略について」など5項目



#### 南海トラフ地震に向けた防災対策について



県民クラブ  
あきさ けんじ  
成迫 健児 議員



**Q** 災害廃棄物の迅速な処理等を含む、南海トラフ地震に向けた防災対策にどのように取り組んでいくのか知事に伺います。

**A** 南海トラフ地震が発生すると、県内では年間の一般廃棄物発生量の14倍を超える災害廃棄物が発生すると想定されています。県では、災害廃棄物処理計画を定め、事前準備と発災時の実効性の確保に向けた取組を進めています。事前準備の要となる災害廃棄物仮置き場は、県全体の確保目標の約3倍の候補地を選定しています。加えて、関係団体等と協定を締結し、迅速な処理体制の構築も進めています。

一方、人的被害を最小化するためには早期避難の取組も極めて重要です。地震・津波防災アクションプランを策定し、早期避難の促進に向けて、防災士の養成や避難訓練の実施などについて全県で取り組んでいます。

質問はこのほか「多文化共生の推進について」など4項目



日本共産党  
堤 ともみ 米三 議員



### 日出生台での日米共同訓練及び米海兵隊の実弾射撃訓練について

**Q** 日出生台での日米共同訓練及び米海兵隊の実弾射撃訓練について、中止を求めざるべきだと考えますが、知事の答弁を求めます。

**A** 県では、日米共同訓練実施の発表を受け、速やかに、関係市町とともに九州防衛局長に対し、早期かつ適切な情報開示と安全管理の徹底を要請しました。住民不安が大きいオスプレイなどの航空機の飛行にあたっては、安全確保や騒音の軽減については、特段の配慮を求めたところです。米軍実弾射撃訓練に対する本県の基本姿勢は、将来にわたる縮小・廃止であり、引き続き、国に対して粘り強く求めていきます。

外交・防衛政策は国の専管事項ですが、引き続き、国際情勢や国の動きを注視し、県民の不安解消と安全確保に取り組んでいきます。

質問はこのほか「交通政策について」など7項目

9月12日(木)



県民クラブ  
高橋 たかひろ 肇 議員



### 夜間中学について

**Q** 夜間中学の開校についての知事の見解を伺います。

**A** 県教育委員会では、平成28年の教育機会確保法の成立を受け、検討会議を設置し、夜間中学の設置に向けた検討を重ねてきました。今年3月の総合教育会議で、「義務教育を受けられなかった方のために夜間中学は必要」との意見が出され、具体的な検討を進めることを教育委員会と確認したところです。

この方針の下、夜間中学設置支援委員会を立ち上げ、有識者の方々の意見に基づき検討を進めています。

また、入学対象者が県内各地に分散していると考えられることから、オンライン講座も検討されているところです。

今後も検討を重ね、最短で令和8年4月の開校を目指して準備を進めていきます。

質問はこのほか「子育て支援について」など4項目



自由民主党  
中野 ただひろ 哲朗 議員



### 国道386号三郎丸橋の復旧について

**Q** 6月30日からの大雨により洗掘され、その後、橋脚が傾倒した国道386号三郎丸橋の復旧について、どのように取り組むのか土木建築部長に伺います。

**A** 今回の被災により、通学路でもある市道が迂回路となつたことから、水路の蓋掛けやガードレールの設置等により、安全な歩道確保に努めています。

また、傾いた橋脚の応急対策として、橋脚基礎の周囲に袋詰め石を設置後、コンクリートによる補強も行いました。

こうした仮設工事に加え、橋梁の上流に仮設歩道橋の設置を計画しており、来年2月の完成を目指しています。

本復旧については、10月末の災害査定に向け、地質調査や国との協議を行いながら橋梁設計を進めています。

復旧工法は原形復旧ではなく橋長を伸ばす等の改良復旧にて架替えを行う予定です。

質問はこのほか「地域医療について」など4項目



日本維新の会  
三浦 ゆき 由紀 議員



### 先島諸島からの避難者受入れについて

**Q** 台湾有事などにおける先島諸島からの避難者受入れについて知事の考えを伺います。

**A** 先島諸島からの避難住民等の受入れに関する計画作成については、九州地方知事会で、林官房長官から九州・山口の各県知事に協力要請がありました。

計画作成にあたって、現在、庁内に横断的な検討組織を設け、避難先や移動手段の選定、避難施設への割り振りなど、受入れに係る具体的な検討を行っています。市町村やバス協会等関係機関にも説明し、計画作成に関する協力を依頼しているところです。

国民の生命を守る重要な取り組みであるため、国や各県としっかり連携し、対応していきたいと考えています。

質問はこのほか「大分港西大分地区の活性化について」など4項目





自由民主党  
今吉 次郎 議員



### 商店街の活性化について

**Q** 地域を支える商店街の活性化にどのように取り組んでいくのか、商工観光労働部長に伺います。

**A** 地域におけるコミュニティの拠点として、商店街の活性化を図っていくことは重要です。

県ではこれまでも地元自治体と連携し、空き店舗の改修による新たな人流創出やデジタルツール活用による発信力強化等に積極的に挑戦する商店街を支援してきました。

地元自治体が商店街やその周辺に、住民交流の場や子育て支援拠点、情報発信拠点などの公共施設を設け、人流創出につながった事例も増加しています。県としては、こうした好事例の他自治体への情報提供に努め、引き続き、持続的な商店街の活性化を後押ししていきます。

質問はこのほか「次期海外戦略について」など5項目

9月13日(金)



自由民主党  
穴見 憲昭 議員



### 救急医療提供体制の確保について

**Q** 緊急医療体制の確保にどのように取り組んでいくのか、福祉保健部長に伺います。

**A** 県では、県民がどこに住んでいても安心して質の高い医療が受けられるよう、市町村等と連携し、体系的な緊急医療体制を整備しています。

また、緊急搬送中の患者の映像や心電図などを医療機関と共有する「緊急支援システム」を県内全ての消防本部に導入し、適切な搬送先の選定や医療機関の円滑な受入れに大きく寄与しています。

なお、#7119※は救急車の適切な利用や救急医療機関の受診の適正化に有効であるため、10月から先行する大分市の導入効果を踏まえつつ、全県展開に向けて、市町村に働きかけていきます。

※「#7119」とは「すぐに病院に行った方がよいか」や「救急車を呼ぶべきか」悩んだりためらう時に電話で相談できる仕組み

質問はこのほか「産業の活性化について」など7項目



県民クラブ  
守永 信幸 議員



### 若年者の移住定住の促進について

**Q** 若年者の移住定住の促進にどのように取り組んでいくのか、知事の考えを伺います。

**A** 地域や産業の担い手となる若者の確保のため、転出抑制と移住促進の両面から多様な対策に取り組んでいます。

転出抑制では、学生と企業双方への働きかけとして、合同企業説明会や経営者と学生の交流イベントなどを行っています。

移住促進対策では、県内高校の卒業生を対象としたWebマガジン「オオイタカテテ！」による情報発信を行うほか、県外の学生等に対して面接やインターンシップに参加するための交通費等の支援を行っています。

加えて、若い世代が安心して子どもを生み育てられる環境づくりも重要であるため、国に先駆け、不妊治療費や妊産婦への交通

費の助成、保育料の減免など、経済的な負担の軽減を図っています。



Webマガジン「オオイタカテテ！」

質問はこのほか「児童虐待の防止について」など5項目



自由民主党  
宮成公一郎 議員



### こどもの貧困対策について

**Q** こどもの貧困対策にどのように取り組んで行くのか、福祉保健部長に伺います。

**A** 「大分県ひとり親と困難な生活環境にある子ども」の支援計画」では、教育、生活の安定、保

護者の就労及び経済的支援の4つを重点施策として、計画に沿った支援策を総合的に推進しています。

また、こども食堂の活動を社会全体で支援する活動も年々広がっており、4回目となるふるさと納税を活用したクラウドファンディングの募集も9月から始めたところ です。

さらに、こどもの生活・学習習慣等を把握するため、7月に小学5年・中学2年生と保護者4万人を対象に「**こども生活調査**」を実施しました。回答には、経済的な理由で塾や習い事に通わせることが出来ないなどの声もあり、学習指導や生活相談につながるなど、こどもと保護者の意見を反映した対策を速やかに講じてまいります。



大分県  
こども食堂  
応援プロジェクト

クラウドファンディング

募集期間：令和6年9月2日(月)～11月30日(土)  
(1回 2,000円以上)

質問はこのほか「遠隔教育について」など4項目



自由民主党  
小川 克己 議員



### 農林水産業の振興について

**Q** 農林水産業の振興に今後どのように取り組んでいくのか知事への考えを伺います。

**A** 大分県農林水産業振興計画では、産出額に食品加工の付加価値額などを加えた「創出額」を総合的な価値として目標に掲げてきましたが、「創出額自体がわかりにくい」などの声がありました。そこで、今回の議会で示した新たな計画案では、創出額を産出額と輸出額、付加価値額に分けて目標指標としたところです。

農林水産業を取り巻く情勢の変化に柔軟に対応していくため、分野ごとの課題に即した施策を講じていきます。

農業では、資本金のある企業を呼び込み産地の規模拡大を図るほか、畜産産業基盤の強化に取り組みます。

林業では、大径材の活用促進や、早生樹による再造林を進め、循環

型林業の確立を目指します。

水産業では、種苗の集中放流などによる持続的な生産基盤への転換を進め、農林水産業の更なる振興につなげていきます。

質問はこのほか「災害の防止について」など4項目

### 可決された議案（議員提出）

○意見書(3件)  
▽私学助成制度の充実強化等を求める意見書 ほか

### 可決・同意された議案等（知事提出）

○予算(2件)  
▽令和6年度大分県一般会計補正予算(第2号) ほか

### ○条例関係(3件)

▽一時保護施設の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について ほか

▽大分県営住宅等の設置及び管理に関する条例の一部改正について ほか

### ○人事関係(1件)

▽公安委員会委員の任命について

### ○その他(11件)

▽大分県行財政改革計画の策定について ほか  
▽大分県長期総合計画の策定について ほか

### 常任委員会の活動状況

#### 総務企画委員会

9月10日  
嶋幸一委員長の辞職に伴い、麻生栄作議員(自民・大分市)を委員長に選出

○付託案件  
▽議案・請願(5件)

9月18日  
▽大分県行財政改革計画の策定について ほか

#### 福祉保健生活環境委員会

○付託案件

9月17日  
▽議案(3件)  
▽大分県環境基本計画の策定について ほか

#### 商工観光労働企業委員会

○付託案件

9月18日  
▽議案(1件)  
▽令和6年度大分県一般会計補正予算(第2号)(本委員会関係部分)

#### 農林水産委員会

○付託案件

9月17日  
▽議案(2件)  
▽大分県農林水産業振興計画の策定について ほか

#### 土木建築委員会

○付託案件

9月17日  
▽議案(7件)  
▽工事請負契約の締結について ほか

#### 文教警察委員会

○付託案件

9月18日  
▽議案(4件)  
▽物品の取得について ほか

## 県議会議長と市町村議会議長との意見交換会

県議会及び市町村議会の各議長が連携強化を図るため、7月30日に意見交換会を開催しました。

今回は、能登半島地震で、発災直後から支援活動に取り組まれているNPO法人リエラの松永代表にご講演いただいた後、議員政策条例として3月に制定した「おんせん県おおいたアドベンチャーツーリズム条例」について、井上副議長が説明しました。

その後、地域課題に対する議会の取組について、各市町村議会議長から発言いただき、意見交換をおこないました。



## 九州各県議会議長会議

8月21日に、九州各県議会の議長・副議長が一堂に会し、九州に共通した課題を協議する「九州各県議会議長会議」が大分県で開催されました。

今回は、大分県議会から提出した「東九州新幹線の整備計画路線への格上げについて」等を含む23件の議案が承認され、政府等への要請行動についても承認されました。

## 特別委員会の活動状況



### 経済活性化対策特別委員会 ～食と観光、農林水産業のさらなる振興と人材の確保・育成～

9月4日（水）に第8回経済活性化対策特別委員会を開催しました。

今回は参考人として、「大分県地域おこし協力隊サポートチーム」古川寛代表と「公益社団法人ツーリズムおおいた」大野博子事務局長に出席していただきました。

古川代表からは人材の確保・育成に向けた地域おこし協力隊への支援状況などについて、大野事務局長からはツーリズムおおいたの取組について、それぞれ説明いただきました。



### 広域交通ネットワーク特別委員会 ～広域交流・観光・産業の振興～

9月20日（金）に第3回広域交通ネットワーク特別委員会を開催しました。

今回は執行部から、本特別委員会の調査項目である「東九州新幹線」及び「豊予海峡ルート」について、それぞれ説明を受けました。



# 令和6年度出前県議会 in 日田市

県議会では議員が県内各地に出向き、地域の現状や課題・取組について意見交換を行い、県民の声を県政に反映させることを目的に、毎年、出前県議会を開催しています。今年度は10月10日に日田市で「日田の地域振興について」をテーマに、地元で活動する3団体の代表者に活動報告や提言を発表していただきました。3組の発表者と、井上広報委員長、広報委員、地元県議など14名の議員、日田市長をはじめとする来賓3名の20名が活発に意見を交わしました。



日田市の街づくりグループ 日田プレイス 西岡 政彦 代表

発表テーマ **世界の中の日田 ～次世代につなぐ「世界の窓」～**

人とのつながりを育み、日田市の中心街を機能させることを目的に、2000年から活動を開始。現在は40代を中心とした15名が準備や運営を全てボランティアで行いながら、定期市「日田いち」を開催しています。

株式会社シンシアリー 平川 加奈江 代表取締役

発表テーマ **地域振興、私達ができること**

「工場作業が苦手な障がい者にも出来る仕事」を考え、障がい者の特性や地域の耕作放棄地が増加している現状に着目。2013年から食用米作りを開始し、地元酒造とタッグを組み、米、水、人全てオール大分で酒づくりも行っています。



NPO法人リエラ 松永 鎌矢 代表理事

発表テーマ **災害があっても県民の命がまもられるように**

自身の地域おこし協力隊での活動を経て、九州北部豪雨をきっかけに同法人を設立。災害復興支援や、日田市への移住・定住支援活動、防災講座など「平時からお互いに支え合い安心して暮らせるまち・ひとづくり」を目指して活動を行っています。



政策勉強会

県議会では定例会ごとに政策勉強会を開催しています。

9月の勉強会では、今年7月に就任した桑田龍太郎副知事に「人口減少社会での地域づくりに向けた国土・交通・観光政策の新展開」と題し、国土交通省などでの実務経験や知見を交え、人口減少社会の中で、

地域社会を持続可能にするための新たな国土政策・交通政策・観光政策等についてご講演いただきました。



《県議会今後の動き》

令和6年第4回定例会の日程(予定)

- 11月27日(水) 開会
- 12月4日(水) 6日(金) 本会議(一般質問)
- 9日(月) 10日(火) 常任委員会
- 13日(金) 閉会

表紙の題字の作者 中津北高等学校 金枝 虹実 さんの所属する書道部の様子をご紹介します

3年生が引退した現在、2年生8名、1年生5名の計13名で活動しています。写真はこれからの1年間校内の中庭(NKホール)に展示することになった2年生揮毫の横断幕です。文化祭の前日に除幕式が行われ、1~3年生の全部員と一緒に写ったものです。校外で書道パフォーマンスを行ったり、個人では様々な古典や創作作品に挑戦したりと毎日頑張っています。



県議会タイム YouTube

YouTubeでこれまでの定例会のダイジェストをご覧ください。ぜひ、ご覧ください!



《議会ロビーでの展示》  
元大分市の地域おこし協力隊員で、現在はねんど人形写真作家として活動している渡邊和己氏の作品を県庁舎新館1階議会ロビーに展示しました。(9月17日~10月18日)

県議会ホームページでは

本会議の生中継、録画中継、会議録や議会の日程、質問項目、議会の仕組みと役割など、様々な情報を掲載しています。ぜひ、ご覧ください。

<https://www.pref.oita.jp/site/gikai/> 大分県議会 検索

- ◇お問い合わせは県議会事務局まで
- 【総務課】 議会庶務、情報公開など TEL 097-506-5019
- 【議事課】 本会議、常任委員会、傍聴など TEL 097-506-5022
- 【政策調査課】 調査業務、議会広報など TEL 097-506-5035

大分県議会公式X (@oitakengikai)

県議会の活動について発信しています。ぜひ、ご覧ください。

